

雪害復旧対策特報（H29・3月）

平成 29 年 3 月 17 日
JA 中野市雪害対策本部
JA 中野市営農センター



融雪も進み、生育期が近づいてきました。今冬の豪雪により被害を受けた樹体の復旧に加え、野ネズミ対策、春施肥等の作業はできるだけ早めに取りかけられるようにしてください。尚、立木品目の復旧方法は下記を参考に実施してください。

1. りんご・もも等の立木樹の復旧方法

被害樹も含め、剪定作業は早めに行い園地内の清掃作業を進めてください。樹体復旧作業は早めに取りかかるほど回復は早まります。以下の対策を参考して普及作業を進めてください。

- ① 主枝等の太い枝の損傷が木質部と皮部の 1/3 程度が残っていれば回復可能。支柱や誘引紐で支え、粘着テープ等を巻いて乾燥を防止する。
- ② 復旧作業はジャッキ等を使い裂開部を接合し、カスガイやボルトで補強する。その際、強風や着果の重みによって再び裂開しないように必ず支柱等で補強する。
- ③ 枝が損傷した場合は、高接ぎによって折損部分の頂芽数を早めに回復させる。
- ④ 折れた部分は不整形に被害部が露出し、枝幹病害（腐らん病・胴枯病他）の侵入口になりやすいので、早めに整形し塗布剤で覆う。
- ⑤ 主枝全て又は 1/3 以上を折損した場合は改植する。
- ⑥ 融雪水が多くなるので、排水溝や明きょを掘って、圃場外へ排水する。

2. ぶどう樹の復旧方法

被害樹は柵の復旧後、剪定作業を早めに行いましょう。以下の対策を参考して復旧作業を進めてください。
※被害のあった樹は強めに切り戻し、樹勢の維持に努める（種なし化）。発芽状況を確認して発芽不良の部分をさらに剪定する。

- ① 雪の重みで樹が傾いた場合は樹を元の位置に戻し、強めの剪定を実施する。
- ② 主枝が折れている場合は癒合剤（トップジン M ペースト等）を塗布し、枯れ込み乾燥防止に努める。
- ③ 主幹が裂けている場合は開口部を閉じ、縛り合わせておく。

※被害樹は樹勢低下、枯れ込む可能性が高いので、新しい苗木を新植しておく。

3. 野ねずみ対策

雪が多い年は、野ねずみの被害が大きいと予想されます。また、消雪後は餌となる雑草や種子が少なく、餌を求めて殺そ剤や捕獲器の効果が高まります。野ねずみ駆除については下記の対策を参考し、密度増加を抑制してください。

- ① 殺そ剤投与：ラテミンリン化亜鉛 1 %等を園内外の広い範囲で数日連続して投与する。事前にねずみ穴を踏みつぶし、その翌日に開いた穴を（生き穴）に殺そ剤を投与すると効果が高まる。
- ② 捕獲器の設置：パチンコ等は、りんごの果実等の植物質の物を餌とし、ねずみ穴の近くに設置する。りんご箱等ねずみ穴を捕獲器の上に被せると効果が高い。
- ③ 園内清掃：春から繁殖期となるため、巣を作りにくくするために園内の清掃を行う。特に誘引に使用した紐、縄、稲ワラ等は巣の材料となるので園内に放置しない。

◆ 野ねずみ被害樹の処理

- ① 地際部が食害を受けた場合でも、回復が望める場合は癒合剤（トップジン M ペースト等）を処理する。食害部（被害部）を放置すると、樹が衰弱しますので早期に癒合剤処理を進めてください。
- ② 結果枝が被害を受けた場合は、健全部又は食害が少ない部位まで切り戻す。
- ③ 苗木等で根まで食害されている場合は、すぐに抜かず、周辺のねずみ穴に殺そ剤を投与する等の対策を講じてください。

4. 春施肥

- ① 雪害による枝折れが多い場合は、樹勢が強くなることが心配されます。その場合は、春肥を減肥するか、施用しないようにしてください。（剪定終了後、平年並みの着果量を確保できる見通しがたてば通常通りの施肥してください）
- ② 倒伏し断根がみられる場合は、台木部分に盛り土や堆肥マルチ等を行って発根を促すようにし、春肥の施用は控え、生育期間中は乾燥しないように適宜灌水する。（根部に野ねずみの食害を受けた場合も同様の対策を行う）

次頁もご覧ください。（もも苗木注文、ぶどう講習会のお知らせがあります。）

5. 雪害対策本部からのお知らせ

① 復旧資材：木柱・癒合剤（トップジン他）・鋼管支柱

上記資材は各事業所又は営農センターに用意してありますのでご利用ください。尚、復旧資材の購入助成を講じます。

② セルフジャッキ：無償で貸し出しをしています。各事業所に1台ずつ配置しました。ご活用ください。

③ 雪害対策資金融資について ＊不明な点や詳細事項は融資課（電話 26・1184）までお問い合わせください。

名 称 ：平成 29 年雪害対策資金

資金使途 ：被害を受けた農家の被害施設復旧及び運転資金

貸付限度額：被害額の範囲内で 500 万円以内（被害認定した金額）

貸付利率 ：0.00%

貸付期間 ：7 年以内（うち据置 1 年以内）

取扱期限 ：平成 29 年 12 月 29 日（金） 受付は各事業所にて御相談下さい

もも苗木のご注文について

1 月の大雪の影響で、老木を中心に枝折れの被害が多発しました。

J Aでは園芸特別・雪害復旧対策として、ももの苗木を10 本以上ご購入の場合に、代金の50 %以内を助成させていただきます。

「あかつき」、「川中島白桃」等、まだまだ苗木注文をお受けしておりますので、希望される場合は、至急ご注文をお願いします。

注文先：営農センター園芸課(23－3933)または各事業所へ（品種によって品切れの場合があります）

今年度、雪害対策として帆柱（マスト）を利用した栽培モデル園地を設置します！！



今秋、モデル園地での説明会、
資材の斡旋を予定しております。

- ・単管パイプ（5～6 m）を樹の中心に立て、上からワイヤー・ロープ等で骨格枝（主枝、垂主枝）を吊り上げる
- ・さらに骨格枝を下から支柱で支えることで、雪に対する強度が増すと考えられています。
- ・単管パイプの設置時期は、定植4年目以降。まずは、苗木を植えましょう！！
- ・パイプなどの資材については、J A補助事業により助成措置を講じる予定です。

ぶどう雪害復旧講習会開催について

1 月の大雪の影響で市内各所の棚に倒壊や、緩みの被害が発生しました。発芽前までに棚を修理し倒壊に備えるため、雪害復旧「棚締め」講習会を下記の日程で開催します。

地区	日時	場所
南部	3 月 23 日(木) 午前 9 時	南部共選所集合
西部	3 月 23 日(木) 午前 11 時	浜津ヶ池南側駐車場集合
平岡	3 月 23 日(木) 午後 2 時	平岡事業所集合
科野	3 月 23 日(木) 午後 4 時	科野事業所集合

内容

- ・棚の復旧方法の確認
- ・セルフジャッキを使用した棚締めについて
- ・ミニティーアンカーの施工について（南部・西部のみ実施）